



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日
東

上場会社名 株式会社ジャムコ

上場取引所

コード番号 7408

URL <http://www.jamco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 善久

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 大倉 敏治

(TEL) 0422-31-6114

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,612	0.6	1,964	—	1,900	—	1,000	—
24年3月期第3四半期	36,394	32.9	137	—	△447	—	△526	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,131百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △731百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	37.28	—
24年3月期第3四半期	△19.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	59,732	16,283	26.7
24年3月期	56,869	15,361	26.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 15,958百万円 24年3月期 14,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,280	5.0	2,520	135.4	2,200	264.7	1,100	—	41.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	26,863,974株	24年3月期	26,863,974株
25年3月期3Q	38,340株	24年3月期	37,334株
25年3月期3Q	26,826,214株	24年3月期3Q	26,828,202株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「(2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	p.2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	p.2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	p.3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	p.3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	p.3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	p.4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	p.6
(3) 継続企業の前提に関する注記	p.8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	p.8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、米国、欧州ともに景気回復力が弱く、中国などを中心とした新興諸国の景気拡大テンポも鈍化したまま、米国における「財政の崖」や欧州政府債務問題などの警戒感から、世界景気は依然として下振れが懸念される状況が続きました。国内においても、東日本大震災からの復興需要などを背景に景気回復の動きが続くと期待されていましたが、海外景気の停滞やデフレの影響など先行きの不透明な状況が続きました。一方、11月に衆議院が解散したのを機に、過度な円高の是正を含む大胆な金融政策への期待感から円相場は円安傾向に転じ、12月末には1米ドル当たり86円半ばとなり、輸出企業にとっては業績の持ち直しが期待される状況になりました。

航空輸送業界では、国内でも複数の格安航空会社(LCC)が営業を開始するなど、世界的にLCCの路線拡充が進み競争力を高めるなか、大手航空会社はLCCとの競争激化や燃料の高騰などで厳しい経営を強いられ、燃費効率に優れるボーイング787などの次世代航空機の需要は益々高まっています。機体メーカーのボーイングやエアバスの受注状況は引き続き堅調で、787をはじめとした中型機種を含めて、増産体制の構築を急いでいます。

こうしたなか当社では、内装品事業においては、787をはじめとした製品の増産対応と種々のコスト削減施策を推し進めました。機器製造事業においては、熱交換器等防衛関連の生産量増加に対応する一方、炭素繊維構造部材(ADP)及び民間航空機用エンジン部品の増産対応と生産効率をより高めるために宮城県の新工場建設を進めています。整備事業においては、震災の影響で減少した受注量に対して社内で人員を再配置して操業度を改善する一方、期末にかけて増加傾向にある作業量に対応して業績回復に向けた施策を進めています。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

内装品事業では、前年同四半期に比べジャムコアメリカの特需減少で全体の売上高は減少しましたが、ギャレー、ラバトリー、スペアパーツの売上増加やコスト削減を推し進め、又、年末にかけて為替相場が円安に向かい為替差益が発生したことなどにより、経常利益は大幅に増加しました。

機器製造事業では、熱交換器等の防衛関連部品の受注、生産ともに順調に推移し、前年同四半期に比べて売上高、利益ともに増加しました。

整備事業では、震災で半年間操業を停止した前年同四半期に比べ、売上高は増加しました。一方、経常損益は、受注量が十分でなかったことから上期は操業度が低く、又、採算性の悪い工事の完了などにより損失となりましたが、前年同四半期に比べて改善しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高 36,612 百万円（前年同四半期比 217百万円増）、営業利益 1,964百万円（前年同四半期比 1,827百万円増）、経常利益 1,900百万円（前年同四半期は、経常損失 447百万円）、四半期純利益 1,000百万円（前年同四半期は、四半期純損失 526百万円）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の見通しは、内装品関連でスペアパーツを中心に売上高が増加する見込みです。又、これまで実施してきた様々なコスト削減により、内装品関連の利益率が回復していることに加え、期末にかけても為替相場は引き続き円高是正基調で推移すると見られることから、平成24年5月11日に公表した通期の連結業績予想を売上高、利益ともに上方修正いたしました。

なお、業績予想の前提となる第4四半期以降の想定為替レートは、前回予想における1米ドル当たり78円から90円に変更しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,902,373	2,413,701
受取手形及び売掛金	14,929,237	15,987,449
商品及び製品	80,998	81,935
仕掛品	13,828,965	13,951,028
原材料及び貯蔵品	8,449,699	10,271,494
その他	3,682,353	3,122,738
貸倒引当金	△8,844	△8,570
流動資産合計	43,864,783	45,819,776
固定資産		
有形固定資産	8,804,108	9,412,530
無形固定資産	1,027,877	1,194,561
投資その他の資産	3,172,822	3,306,040
固定資産合計	13,004,808	13,913,132
資産合計	56,869,592	59,732,909
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,440,184	7,550,875
短期借入金	17,766,890	17,842,865
未払法人税等	108,981	630,500
賞与引当金	974,755	420,145
工事損失引当金	1,069,056	449,759
その他	4,127,207	5,527,099
流動負債合計	31,487,074	32,421,245
固定負債		
長期借入金	3,624,486	4,698,921
退職給付引当金	5,243,571	5,197,587
役員退職慰労引当金	415,890	429,643
環境対策引当金	66,406	66,406
その他	670,210	635,641
固定負債合計	10,020,565	11,028,199
負債合計	41,507,640	43,449,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	5,715,126	6,634,706
自己株式	△29,265	△29,649
株主資本合計	15,413,748	16,332,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,809	279
為替換算調整勘定	△500,618	△374,787
その他の包括利益累計額合計	△476,808	△374,507
少数株主持分	425,012	325,028
純資産合計	15,361,952	16,283,464
負債純資産合計	56,869,592	59,732,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	36,394,745	36,612,565
売上原価	32,875,341	30,636,249
売上総利益	3,519,404	5,976,316
販売費及び一般管理費	3,381,939	4,011,651
営業利益	137,464	1,964,665
営業外収益		
受取利息	3,294	1,075
受取配当金	2,862	2,947
為替差益	—	116,851
持分法による投資利益	7,492	6,349
その他	33,955	34,486
営業外収益合計	47,605	161,710
営業外費用		
支払利息	228,628	214,985
為替差損	384,381	—
その他	19,909	10,783
営業外費用合計	632,919	225,768
経常利益又は経常損失(△)	△447,849	1,900,607
特別利益		
固定資産売却益	218	830
投資有価証券売却益	114,290	—
補助金収入	15,826	—
受取保険金	153,538	—
その他	6,566	—
特別利益合計	290,441	830
特別損失		
固定資産処分損	2,063	2,701
災害損失	264,882	—
特別損失合計	266,946	2,701
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△424,354	1,898,736
法人税、住民税及び事業税	16,049	625,413
法人税等調整額	74,502	263,311
法人税等合計	90,552	888,724
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△514,906	1,010,011
少数株主利益	11,131	9,951
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△526,038	1,000,059

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△514,906	1,010,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,662	△23,529
為替換算調整勘定	△141,667	121,180
持分法適用会社に対する持分相当額	△26,026	23,421
その他の包括利益合計	△216,356	121,071
四半期包括利益	△731,263	1,131,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△708,662	1,102,360
少数株主に係る四半期包括利益	△22,600	28,722

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。